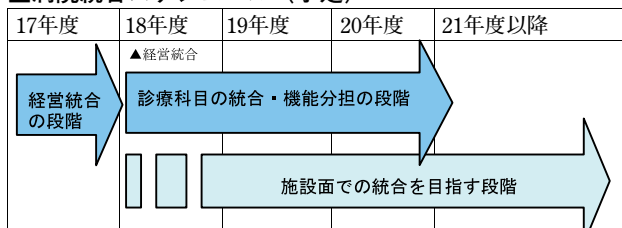


基本計画策定



■病院統合スケジュール（予定）



その結果、まず今日まで二つに分かれていた企業会計を一つに統合するとともに、開設者である市長の補助者として、両病院の経営を統括して行う病院事業管理者を設け、両病院の経営を統合することを決定、この4月、新体制でスタートを切りました。今後は、両病院における診療科目の統

経緯

市立岡谷病院および健康保険岡谷塩嶺病院の統合の課題については、平成15年度に岡谷市病院懇話会を設置し、その提言書を受ける中で、平成16年度に岡谷市病院基本構想を策定しました。

岡谷市病院基本構想では、国の医療制度改革の状況や両病院の経営分析を行う中、今後、高度な医療サービスを継続的に市民に提供していくため、病院の統合は避けられない課題であるとなりました。

合や機能分担を経て、最終的な統合である新病院建設に向けて進めていく予定であります。

岡谷病院統合基本計画

市では平成17年度、岡谷市病院統合基本計画を策定し、去る3月20日に市議会全員協議会に報告しました。

この計画は、平成16年度に実施した岡谷市病院基本構想において示された病院統合の方針に基づき、将来の新病院建設に向けた市としての考え方をまとめたものです。

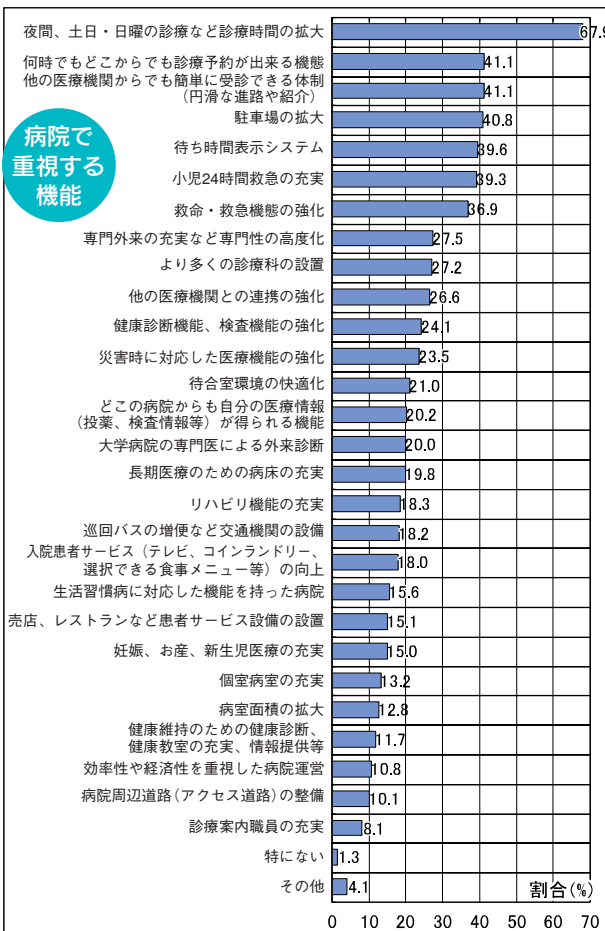
アンケート調査

計画では、まず無作為抽出により市民2000人の方々にアンケート調査を行い、両病院の利用状況や新病院建設に向けた市民ニーズを調査しました。アンケートの内容は多岐にわたっていますが、岡谷病院を利用している理由では、診療科が揃っていて近くて通院しやすいからとの回答が最も多く、また塩嶺病院を利用している理由では、医師・看護師が良いからとの回答が最も多くあり、両病院の特徴が現れていました。

◎新病院の規模

新病院の規模については、現在両病院合わせて569あるベッド数を、病診連携を図りながら急性期病床を持った病院として300から350を目安に、今後検討を深めていくこととしました。

また病院で重視する機能として、夜間・土日の診療、小児24時間救急など、救命救急に対する要望が多く出されました。（グラフ参照）



◎新病院の診療科目

新病院の診療科目については、現時点で両病院が標榜している診療科目をもとに、地域の医療機関との分担・連携を図りながら検討していくこととしました。

◎新病院の敷地

新病院の敷地については左図のように、3つの場所について試案を考え、比較検討をしました。

旧文化センター跡地については、市のほぼ中央に位置している、岡谷病院の患者の移転が容易であるが、敷地が若干狭く、建物が高層にならざるを得ないこと。現市立岡谷病院敷地について



岡谷市病院統合

■新病院の敷地に関する考察

	施設配置	考 察
旧文化センター跡地		◆市立岡谷病院については、入院患者の引越し等、移転作業を円滑に行うことができる。 ◆現岡谷病院の隣地であり、市のほぼ中央に位置しているため、建設敷地として市民の理解が得やすい。 ◆駐車場について、現岡谷病院の北側立体駐車場と、病棟等の跡地を広い平面駐車場として活用する事が可能である。 ◆敷地が若干狭いため、建物が高層なものとなり、周辺の民家に対する影響評価が必要である。 ◆進入道路が限られているため、工事に当たっては工事車両の通行など、周辺民家への配慮が必要となる。
現市立岡谷病院敷地		◆市立岡谷病院については、入院患者の引越し等、移転作業を円滑に行うことができる。 ◆現岡谷病院の敷地であり、市のほぼ中央に位置しているため、建設敷地として市民の理解が得やすい。 ◆駐車場について、現岡谷病院の北側駐車場に加え、現北病棟及び管理棟部分を平面駐車場として活用できる。 ◆段階を追っての工事となるため、工事期間が通常の倍程度必要となる。 また、工事期間中の患者通路の確保等仮設経費がかかるため、事業費が増となる。 ◆騒音・振動等の問題が、工事中の病院経営に悪い影響を及ぼす恐れがある。
駅南土地地区画整理事業用地		◆中心市街地の交通の結節点で通院等が容易であり、少子高齢化が進む岡谷市の将来を見据えると有利な敷地である。周辺都市からの患者も利用しやすい。また、周辺に商業・サービス等の機能が集中しており、市民が来院時に他の公共施設等の利用ができるという面で、利便性が高い。 ◆薬局・福祉関連産業などが周辺に立地する事が期待され、中心市街地の活性化に、良い影響を及ぼすことが期待される。 ◆周辺が道路に囲まれた街区となっており、工事が容易である。また北側は鉄道敷及び駅前広場となっており、日影などの環境に対する影響の心配が少ない。 ◆駐車場について、敷地の状況から立体駐車場として確保することが必要となる。 ◆敷地が若干狭く駐車場が不足するため、周辺民地の買収が必要となる。

は、市のほぼ中央に位置している、岡谷病院の患者の移転が容易であるが、建物を使用しながら段階を追って工事を行うため、事業費が大きく膨らんでしまうこと。

駅南土地地区画整理事業用地については、電車・定期バス・シル

キーバス・タクシー等の交通の結節点であること、また様々な都市機能が集積している場所として利用者の利便性が高いが、敷地が若干狭いため、隣地である大画地の民地を買収する必要があること。

などの検討が行われました。

なお、この3つの試案はあくまでも試みの案であり、確定したものではありません。これらの中間案あるいはその他の候補地を含めて、今後医師会や他の病院等関係機関との連携・調整を図るとともに、市民のみならずの意見をあらゆる機会を捉え

募集

てお伺いし、最終的に決定していきたいと考えていますのでご理解・ご協力をお願いします。

岡谷駅前地区再整備基本計画および岡谷市病院統合基本計画に対するみなさんのご意見を募集します。

企画課

内線1521

4月17日(月)正午から5月16

日(火)午後3時まで、市役所1

階情報公開コーナー、3支所お

よび駅前出張所で計画を公開し、

ご意見箱を設置していますので、

計画に対するご意見等を、お気軽に

お寄せください。岡谷市ホームページでも計画を公開して

います。岡谷市病院総合基本計画

画については、両病院でも公開・

設置しています。

なお、ご意見等は郵送、FAX、Eメールで直接、企画課へ

お寄せいただいても結構です。

用紙等は自由ですが、必ず住所、

氏名、年齢、電話番号を記入し

てください。

提出先：〒394-8510 幸町

8番1号 岡谷市役所企画課宛

FAX 24-0689

E-mail:kk@city.okaya.nagano.jp